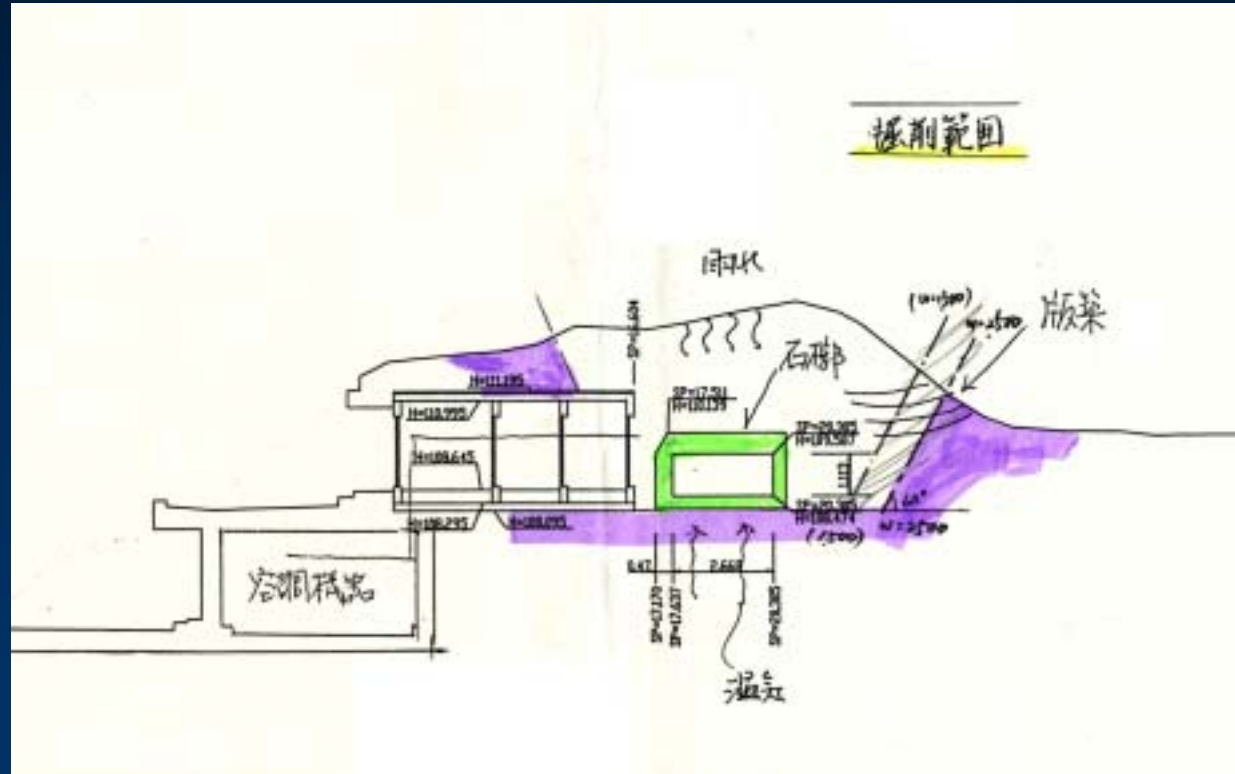


工法の仕様

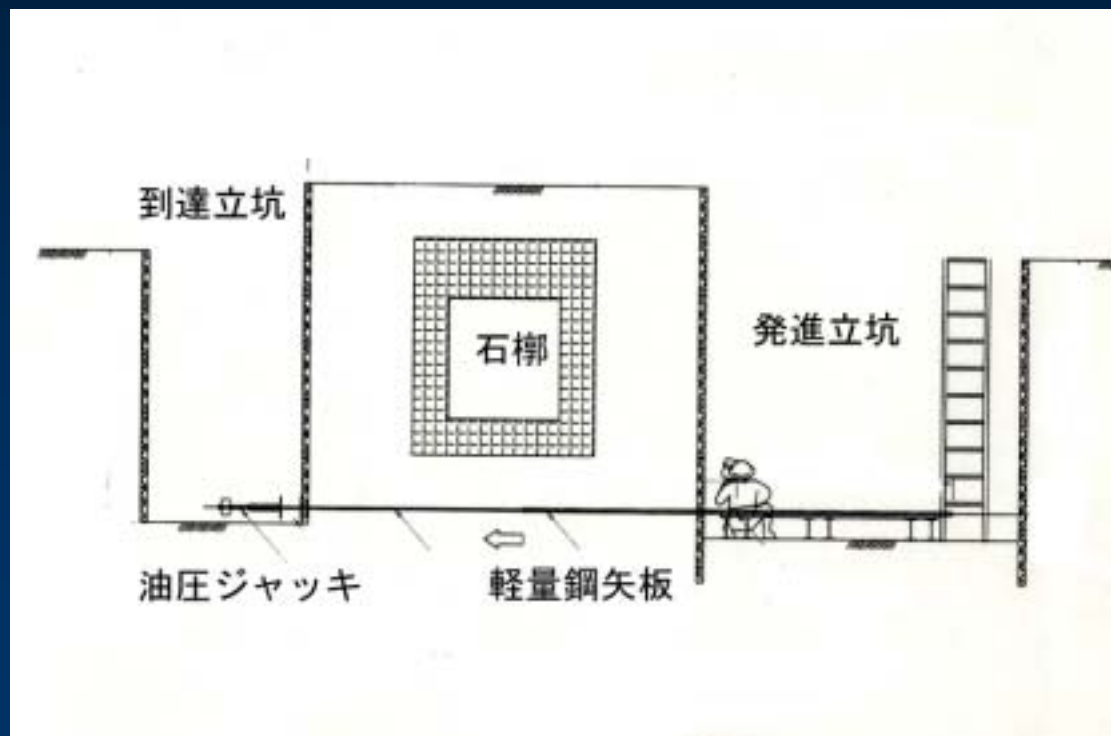
石室周辺の版築層は、上から下図の様に発掘し、石室をむき出しの状態にする必要がある。



オープン
カット工法
により遺構
が失われる
部分

工法の仕様

石室の下面は、鋼矢板を設置することにより、水分を切る工事を行う。



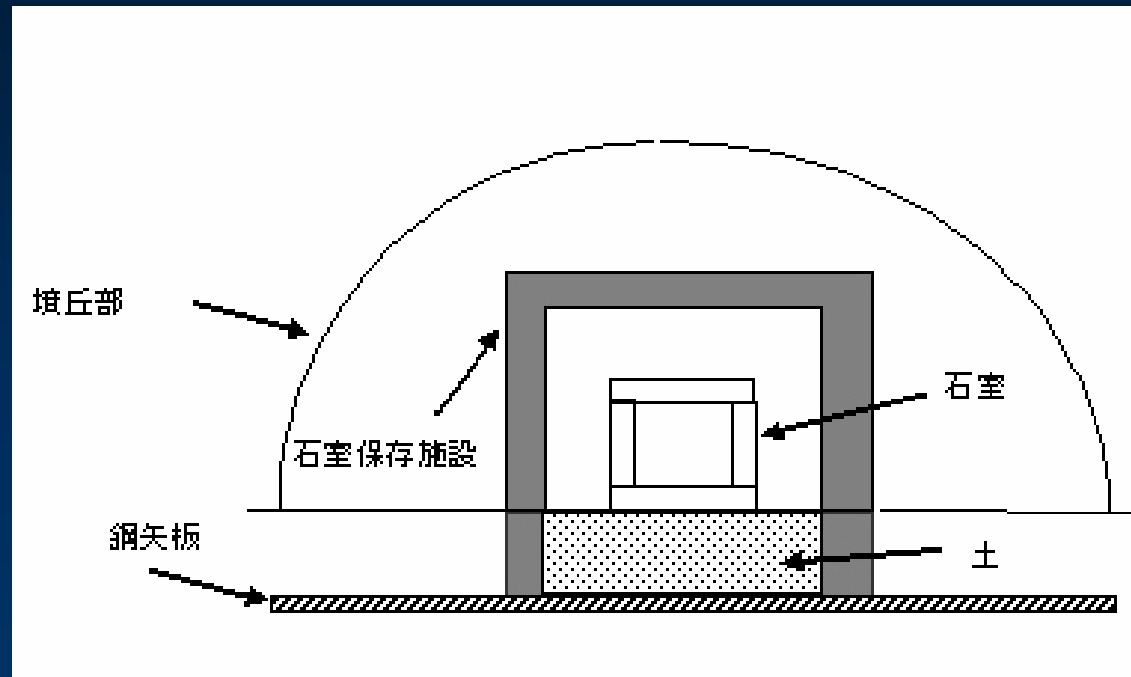
工法の仕様

石室を取り囲む様に、石室保存施設を作成し環境の制御を行う。



工法の仕様

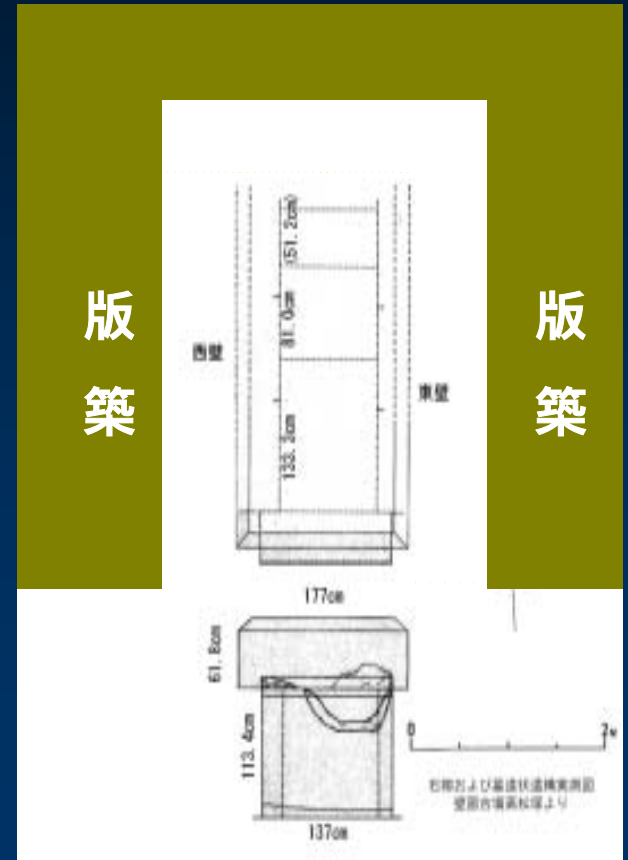
オープンカット工法の模式図



石室の石材を取り外して修理・管理

工法の仕様

版築層を出来る限り保存できるように、作業スペースとして石室壁面外側より周囲80cm程度の空間にとどめる。高さはほぼ底面より3.5m。



石材の取り外しにより遺構が失われる部分

石材の取り出し経路

南および北側のどちらでも可能な方法を選択すること。

石室の石材を取り外して修理・管理 工法について

天井石 (概要)

天井石は、基本的に保護材とコ型サポート器具を用いて、亀裂が動かないように固定した後、重心のバランスを考慮しながら少し吊り上げて、石材下部(側壁の石材上部)に木製サポートを挿入し、前述のコ型サポートと接続して一体構造として移動・回転する



工法について

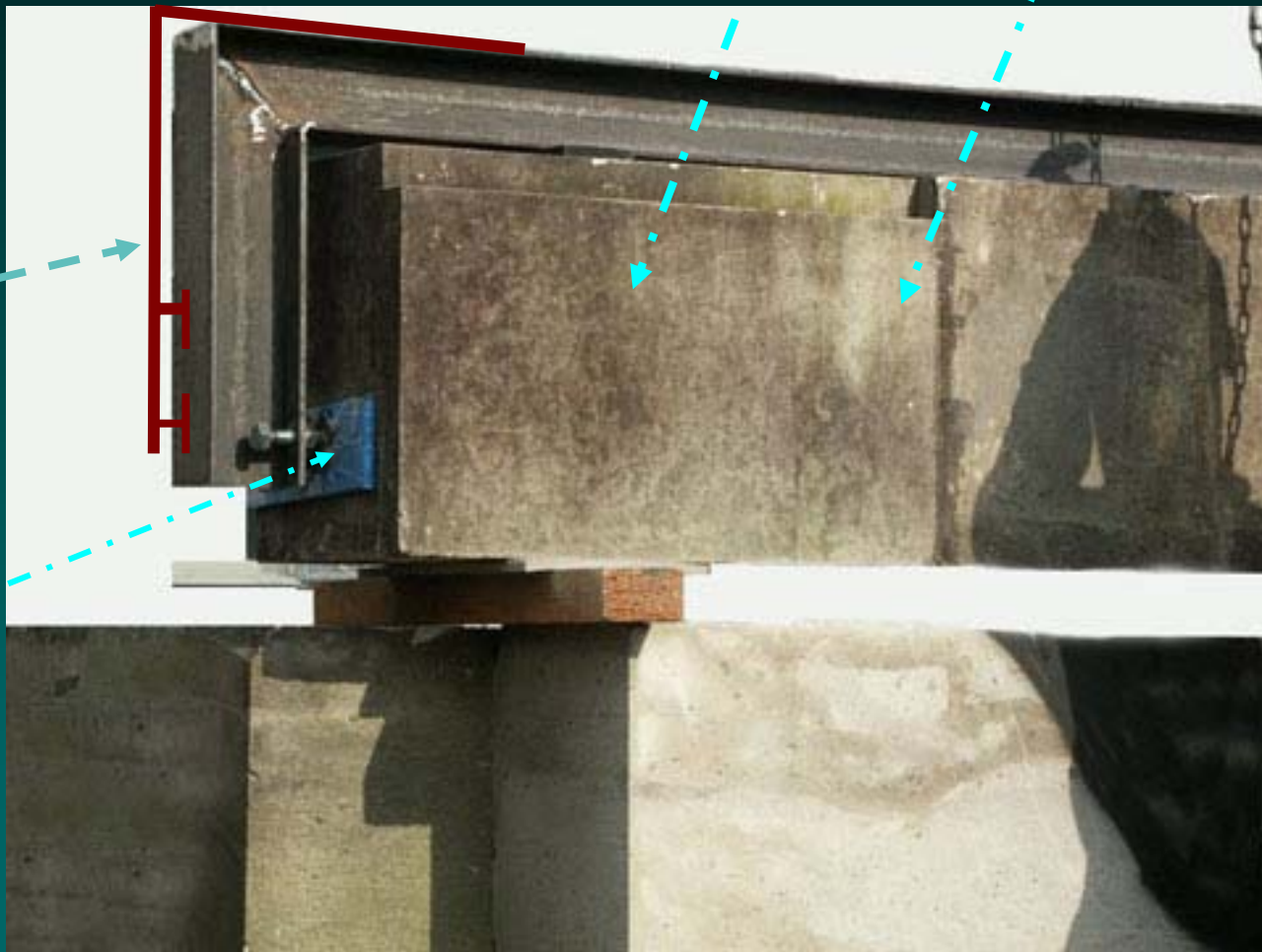
AEセンサー

CM

天井の石
桝(安全対策)

補強装置

圧力センサー



工法について

側壁の壁石 1案

側壁の壁石をわずかに傾斜して、左右の側面をつかんでわずかに吊り上げて移動した後、改めてサポート器具を用いて、移動・回転する

この方法はとび出した漆喰を損傷させる危険があるのと、石材の下面端を損傷する可能性がある



石室の石材を取り外して修理・管理

工法について

側壁の壁石はL型サポート器具を用いて、石材の隙間に数mm厚の金具を挿入してわずかに吊り上げて移動した後、サポート器具を用いて、移動・回転する。最も安全で漆喰や石材を損傷させない。

側壁の壁石
(案2)

状態によつては補助ピンを挿入することもある

